



# 国際交流レポート

## APEC Youth Skills Campに参加して

化学工学専攻1年 安松 花子

8月9日から19日まで中国で開催されたAPEC Youth Skills Campに参加しました。キャンプのテーマは「Skills to the Future」で、APEC加盟国17カ国から99名の若者が集まり、自分のスキルを将来どう生かしていくか、という内容で交流を行いました。

現地でのプログラムは、Youth Forumでのスキルについてのプレゼンテーションやその後のディスカッションに加えて、紫禁城や万里の長城などの名所を観光したり、大学や企業に行っ

て現場を見学させてもらったりと、とにかく盛りだくさんでした。その中で中国の文化に触れることもでき、各国の学生とも意見交換ができました。そこでは、互いの個性にも触れ合い、物事に積極的に取り組むこと、何事にも前向きに取り組むことの大切さを教えてもらいました。

一度に色々な国の若者が集まって、交流できた今回のキャンプは私にとって貴重な経験となり、参加できて本当によかったです。



参加者全員で記念撮影



発表の様子(発表者 安松さんと明石・和歌山高専専攻科生)

## 日中青少年サイエンスキャンプに参加して

電気工学科3年 高木 雄司 電気工学科3年 山本 常春  
電子制御工学科3年 松田 耕一 情報工学科3年 脇川 奈穂

この日中青少年サイエンスキャンプに参加した動機は、「国際化」を経験できる数少ない機会と考えたからです。今後、外国人と英語でコミュニケーションをとることが重要となり、外国の文化や考え方を理解することが必要であることを、授業で何度も聞く機会があったからです。今回、サイエンスキャンプを通して、中国の文化を知り日本の文化を伝え、中国の学生と友達になりたいと思って参加しました。

参加前はあまり活動内容の想像がつかず、中国の学生と上手くコミュニケーションをとることができるのか、英語が理解できず他人に迷惑をかけないか、ホスト国である私たちは中国の方をしっかりサポートすることができるのか、など不安がありました。隣国である中国の科学産業の将来を担う彼らの考え方を知ることや、科学技術を勉強していく自分がこのキャンプに参加してどのように成長をすることができるかという期待もありました。

このキャンプに参加して、たくさんの初めての経験をしました。科学に興味がある同世代の中国の学生と英語で会話するというのはもちろん、日本の他校の学生と一緒に勉強するということが初めて経験だったので、顔合わせをしたときは上手くやっていたいけるかなと心配になりました。しかし、日が経つにつれ、心配していた気持ちが少しずつ自信に変わっていき、最終日には、中国の学生と互いの国や科学について話すことができました。

科学という同じものに関心を持っている者同士では言語の壁を越えて自分の考えをなんとか伝え合うことができ、またお互いを尊重し合うことができました。言語は違えども、科学に対してそれぞれ考え方を皆持っていて、これからの科学技術を支えていく技術者として活躍していくのだなと感じました。この交流を通してますます科学への興味が湧きましたが、中国の学生の思考力に圧倒され、他の参加者たちが話す流暢な英語を聞いて、我々の英語のレベルに危機感を覚えました。

今回のサイエンスキャンプはとても良い機会で、私たちは参加をすることができて本当に良かったです。これによって中国の文化を知る機会を得て、人間の輪を広げることができ、会話力を高めることができ、さらにレベルの高い講義を聞くこともできました。6日間という期間はとても短く感じられ、充実したプログラムの中で非常に貴重な体験をいくつもすることができましたし、とても多くのことを学び感じることができました。このサイエンスキャンプは、私たちにとってかけがいのないものとなりました。私たちの心のなかの中国との距離が確実に縮まったと思います。今、日本と中国の関係はあまり良くないですが、ここでできた友達との輪からもっと友好的になればと思います。今後もこの経験を生かし、彼らに負けないように目標へ向かってひたすら努力を積み重ねていきたいと思います。



Farewell Partyにて



ヘビ型ロボット研究チーム集合写真



日中Science Campののぼり

